

## 環境検討部会（第10回）議事概要（案）

1. 日 時：令和2年8月24日（月）14：20～16：40

2. 場 所：道の駅思川 小山評定館

3. 出席者：別紙のとおり

### 4. 議事概要

本部会で検討した内容は、（1）今回決定した事項、（2）今後検討・確認する事項に分けて整理する。

#### （1）今回決定した事項

##### ◆西清水川排水路の環境配慮対策について

（委員）

トランジション部の開口部については、開口部がまとまっており、面積も大きい事業所提案の案1（4ヵ所分割、開口部面積21㎡）を進めることとする。

##### ◆議事概要の公表について

（委員）

議事概要と合わせて、本部会の構成員についてもホームページに公表することを了承する。

#### （2）今後検討・確認する事項

##### ◆西清水川排水路の環境配慮対策について

（委員）

開口部の底質については、今回の移植モニタリングの結果も踏まえて検討して具体化するとともに、底質下層の地下水を通す素材についても、ポーラスコンクリート等、水生植物が根を張れる素材を検討すること。

また、粒径の異なる素材の間には、吸出防止材の敷設を検討すること。

（委員）

開口部の設置は、水生植物の保全のみでなく、水生動物類の生育場所にもなるため、可能な限り縦断方向への延長や、複数箇所の設置を検討されたい。

（事業所）

今回、初めて縦断方向の開口部を設置することになるため、この実績を踏まえて、今後の施工範囲における開口部の配置について検討することとしたい。

(委員)

品川幹線排水路合流部の水路魚道については、対象となる時期や水深、流量等の諸条件をよく見直し、再検討すること。

◆生物調査について

(委員)

調査の目的に照らし、改修工事の影響を評価できるよう、工事前と工事後の生息状況とともに生息環境の比較も併せて行い、分析すること。

◆水生植物の移植モニタリングについて

(委員)

これからの出水の時期にも定着するかが重要であり、特に葉が流されても根が残っているかについて確認されたい。

(委員)

これまでの失敗や今後のモニタリングも含め、結果を客観的に分析・検証されたい。